

2010年事業報告

事業名 ケニア赤十字社地域保健強化事業
事業地 ケニア共和国 ガルバチュウラ県
(旧イシオロ県東部)



事業費 2,800万円

事業目的 新生児特有の病因及び感染症（マラリア、下痢症、肺炎及び予防接種で予防可能な疾病）による5歳未満児の疾病及び死亡の減少に貢献する。

事業目標 地域保健師及び赤十字ボランティアという地域に根付いた保健人材のネットワーク強化を通じて、住民の保健医療サービス（Primary Health Care Services）へのアクセスを向上する。



活動内容

1. 住民の健康増進にかかる行動変容（より健康になるための行動の変化）の普及

住民の死亡原因の多くが肺炎、下痢症、マラリア、麻疹といった予防可能な疾病であるため、健康増進への取り組みの第一歩は、住民自身が病気の原因とその予防方法に関する知識を得てそれを実践し、病気になった際に正しい行動を取る習慣を身に付けることにある。その取り組みを推進するために、住民にとって一番身近な保健医療サービスのアクセスとなる地域保健師と赤十字ボランティアを村内で養成し、住民に衛生知識の普及とトイレ等の衛生設備建設の働きかけを行っている。また医療施設のない村に対しては、巡回診療により住民の保健医療サービスへのアクセスを向上させて、住民の間により健康になろうとする行動変化を促す支援を行っている。

①巡回診療の実施（医療施設のない村を対象に月1回実施）

- ・1,742人の5歳未満児と3,890人の大人の診療を行った。
- ・1歳未満の子ども908人に予防接種を実施し、うち134人の子どもは全ての予防接種が完了した。
- ・169人の妊婦に破傷風の予防接種を行った。



1歳未満児に対する予防接種の実施

- ・ 770 人の子どもを対象にビタミン A の補給を行った。
- ・ 203 人の妊婦に検診を行い、栄養に関するカウンセリングと継続的なマラリア治療と予防を行った。

②地域保健師と赤十字ボランティアによる地域での衛生教育の普及

- ・ 衛生教育の普及とボランティアの意欲向上のために、現地語での公衆衛生メッセージをプリントした帽子 200 個、キコイと呼ばれる伝統的衣類（大型のスカーフ）60 枚をボランティアや地域の人々に配布した。
- ・ 内臓リーシュマニア症の研修を 24 人が受講した。
- ・ 25 人のボランティアが参加型手法による公衆衛生研修に参加し、事業対象地の 17 地区における地域住民 340 人に対してその手法を普及し、下記のような公衆衛生活動を行った。

—定期的に村の清掃を行えるよう事業地 17 地区に清掃道具を配布

—衛生的な生活環境を保つため 325 ヶ所にゴミ捨て場を設置

—地元で入手可能な材料を用いて、105 ヶ所の

トイレを設置

—衛生的な水を得ることが困難な地域で、9,590

個の浄水剤を設置

—衛生的な水を得ることが困難な地域で、9,590

個の浄水剤を配布

③マラリア予防活動

- ・ 殺虫剤塗布済みの蚊帳 408 張を配布した。
- ・ ボランティアと地域保健師を通じて 153 張の蚊帳に殺虫剤の再塗布を行うとともに、蚊帳の適切な使用方法を指導した。
- ・ マラリア原虫を媒介する蚊の発生を防ぐために、10 地区において 1,600 戸の住宅の屋内に殺虫剤を散布した。



地域保健師による住民に向けた衛生教育の様子



蚊帳を受け取る母子



地域住民の家で使用されている蚊帳

④子どもと母親の栄養向上キャンペーン

- ・ケニア赤十字社のボランティアと地域保健師が 1,500 世帯の家庭訪問を行い、子どもの成長観察、ビタミンA補給、寄生虫の駆虫、殺虫剤塗布済みの蚊帳の使用、妊婦検診、医療施設での出産、5歳未満児と妊産婦の予防接種の重要性について理解を向上させた。

⑤地域保健戦略

- ・ケニアの国家保健部門戦略計画では、多くの人々に保健サービスを提供し、健康増進につながる行動が取れるようになることを目指している。この戦略に基づき、ケニア赤十字社では県の医療人材育成の支援として、ガルバチューラ県のガファルサ・セリチョー村における保健センターの県保健局職員 8 人、地域保健師リーダー 4 人、地域保健師 40 人の研修を支援し、県内の保健医療サービス向上に貢献した。なお、保健センター1ヶ所当たりの対象人口は、5,000 人（1,000 世帯）である。

2. 保健医療施設の機能強化

住民が保健医療サービスを受ける際のアクセス先となる県内の保健医療施設の機能強化に取り組んでいる。施設の改修や新設、資機材の整備支援に留まらず、医療施設間での患者搬送体制を強化するために、無線網の整備と運用も行っている。

①県立病院と保健センターへの医療機材の整備

- ・ガルバチューラ県保健局管下施設に対して、総額約 85 万円程度の医療機材（医薬品、ベッド、車椅子、担架）を整備した。

②ガルバチューラ県立病院手術室の建設

- ・手術が必要な救急患者の救命率向上のため、ガルバチューラ県立病院の手術室建設に着工し、屋根部分まで工事が完了している。



建設中のガルバチューラ県立
病院手術室の外観

③給水設備の設置

- ・ガルバチューラ県立病院とセリチョー保健センターに濾過機能付き雨水集水タンク（1,000 ℓ）の水タンクを 1 基ずつ計 2 基設置した。

④医療施設間を結ぶ情報通信網の整備

- ・セリチョー保健センターとバランバテ診療所に無線機を新設し、イレサブル診療所、ガルバチューラ県立病院及びマルカダカ診療所に整備された無線機の修理を行った。
- ・交信状況の改善のためマルカダカ診療所からガルバチューラ病院に中継アンテナを移設した。
- ・整備した機器の定期的なメンテナンスを行った。
- ・ボランティアと地域保健師に対して、無線の使用法やメンテナンスの習熟訓練を行っている。



無線機のテストを行う事業担当者

3. ケニア赤十字社イシオロ県支部の事業実施能力の強化

事業の適切な管理と運営のために、支部職員やボランティアの能力向上に取り組むとともに、支部の体制強化を行った。

①人材育成

- ・県支部職員とボランティアの能力向上を目的とした研修を支援し、意欲向上や活動促進に役立てた。

②事業管理と県内の関係機関との調整枠組み作り

- ・事業担当者によって、事業のモニタリングが毎月定期的に行われており、県保健局との共同モニタリングも2ヶ月に1回行われている。
- ・ケニア赤十字社本社、北東部地域統括支部、イシオロ県支部関係者に日赤要員が加わり、事業の進捗、課題、経験の共有を行う定期的な連絡調整会議を開催している。

③イシオロ県支部建設

- ・事業を管理・運営するイシオロ県支部の建設に着手した。完成は2011年6月である。

④中間事業評価の実施

- ・第三者機関によるデータ収集と分析による客観的な事業評価を実施し、2010年末には報告書の編集を行った。



建設中のイシオロ県支部の外観